

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成28年2月8日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4678300106
法人名	社会福祉法人 愛心会
事業所名	グループホーム やくしま
所在地	鹿児島県熊毛郡屋久島町原914番地23 (電話) 0997-47-2010
自己評価作成日	平成27年11月10日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成28年1月16日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点 (事業所記入)】

ご利用者のペースで生活して頂けるようなケアを実践しております。また、ご家族様への報告・連絡・相談を徹底しております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点 (評価機関記入)】

- ・当事業所は、屋久島三代岩壁の一つのモッチャム岳を見上げる自然環境にも恵まれた地域に立地している。木造平屋の建物で広いデッキで繋がっている2ユニットのホームである。日当たりも良好で室内には適切な日差しも入り、入居者も快適に過ごしている。
- ・利用者と職員とのコミュニケーションも良く、一日一回以上は笑顔で笑うことを職員の行動指針の一部に掲げており、良好な関係性を築いている。
- ・夏祭りや敬老会など地域行事に積極的に参加し、認知症相談にも対処するなど日常的に交流している。野菜の差し入れなどもある。ボランティアの受け入れなども行っている。
- ・災害対策については、定期的に避難訓練を実施している。訓練には運営推進会議の参加者や地域住民との協力体制もできている。スロープの車路の整備など具体的な改善には運営推進会議での助言が活かされている。
- ・管理者は職員が働きやすい環境作りに配慮している。職員間のコミュニケーションが図られ、家族からも信頼されている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎朝の申送り時に、管理者職員は理念ならびに職員行動指針の唱和を行い、理念の共有を図り、実践につなげている。	理念は平成27年に見直し、地域との関連性を踏まえた理念で玄関やホールに掲示している。朝礼時に職員行動指針と共に唱和し、日々確認し合っている。会議等で振り返りそれに沿ったケアの実践に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	読み聞かせ、散髪など、地域のボランティアの訪問などを通じて、日常的に交流をしている。	夏祭りや敬老会など地域行事に積極的に参加し、認知症相談にも対処するなど日常的に交流している。野菜の差し入れなどもある。ボランティアの受け入れなども行っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	運営推進会議等や職員の講習会などを通じて、認知症の方の理解や支援方法を地域の人々に向けて生かすよう、更に努めてゆく。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回開催しており、区長・民生委員・行政・家族等から地域の情報を頂いたり、アドバイスや助言等を頂き、会議での意見をサービスの向上に活かしている。	会議は定期的に行っている。事業所の状況や外部評価の報告などがなされ、スロープ設置や車道改善などに委員からも多くの助言や提案があり、具体的なサービス向上に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	市町村担当者に対して、日頃から、報告・連絡・相談を行い、協力関係を築くように努めている。	町担当者には、日頃から利用者の報告や連絡・相談を行い情報交換して助言を貰っている。介護相談員の訪問も月1回程度あり実情等を伝えたりしている。生活保護の担当者とも連携を取っている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	玄関の施錠、行動制限等、身体拘束をしないケアに取り組んでいます。	定期的に勉強会を開催して、事例検討やホームでの困難な事例を研鑽し、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。管理者からは言葉使い等、特に心理的虐待に対する周知を徹底している。昼間は玄関の施錠をせずに、職員間の連携で安全な暮らしを支援している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員の勉強会や、職員同士注意を払い、虐待防止に関しては、十二分に徹底しております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	個々の職員は勉強しておりますが、現状では不十分である。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時に、契約に関する十分な説明を行い、理解・納得を図っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>話しやすい雰囲気づくりを行い、ご家族様からの意見・その他助言等を運営に反映させている。</p>	<p>気軽に話し合える雰囲気作りに留意している。利用者からは日々の関わりの中で意見や要望を聞き思いを把握している。家族からは面会や運営推進会議、電話連絡時などに便りや状況報告を細かく行い意見や要望を聴いている。出された意見や要望等は職員で話し合い反映させている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員会議や、意見交換が述べやすい雰囲気づくりを実践し、改善できる部分に関しては、可能な範囲内で改善に取り組んでいる。</p>	<p>管理者は、会議等で職員の気づきや意見や提案を聞いている。相談事は個別に聞き適切にアドバイスをしている。常に職員間でも意見を言い易い雰囲気であり、気付いた事は実践するようにしている。環境面や福利厚生等、働きやすい職場を目指して取り組んでいる。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>勤務状況や、給与水準、労働時間、やりがいなど、職員が向上心を持って働けるように、就業関係の整備に努めております。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>島内外での研修への参加、業務を行いながらの人材育成に取り組んでいる。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他の事業所訪問等を通じて、同業者との交流を行い、お互いのサービスの質向上に取り組んでいます。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居者との会話に努め、話しやすい雰囲気づくりを心がけ、信頼関係構築に取り組んでいる。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族より相談しやすいように、近況の報告を行ったり、お話をさせて頂き、不安、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに取り組んでいる。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居者の現状を判断し、必要があれば、他の施設等への紹介をさせて頂いている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者の想いや、不安、喜びを共に分かち合い、意思を尊重し、協働しながら生活が送れるように、場面づくりや、言葉かけを行っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	現状の報告を通じて、ご本人を共に支えあう関係の構築に努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	地域で過ごした生活歴を尊重し、馴染みの暮らしを大切に、地域との関わりや関係が途切れないよう、支援に努めている。	これまで大切にしてきた馴染みの知人・友人宅の訪問や買い物、行きつけの理美容院の利用など、継続的關係が途切れないよう働きかけている。家族との外出や外食・墓参なども積極的に支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日々の生活の中で、レクリエーション、外出、会話を通じて、利用者同士の関係をより良いものにしてゆくための支援に努めております。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他の施設に入居された方のもとへ、面会に伺ったり、ご家族より連絡があった場合には、相談等にも応じて、フォローさせて頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者一人ひとりの思いや暮らし方、意向を把握し、入居者本位に生活して頂けるよう努めている。	家族や知人・地域での情報収集を行い、生活歴を大切に思いを把握している。日々様子を観察し、言葉や表情などから思いや意向の把握に努めている。困難な場合は、その人らしさを大切に利用者の視点に立って職員間で話し合い、本人中心に支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの生活のパターンやリズムを理解し、行動・動作・表情からの把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、職員間、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人や家族の希望や思いを基に、主治医や必要な関係者の意見も反映させ、個々に応じた介護計画を作成している。服薬など主治医からの意見も大切に3ヶ月毎にモニタリングを実施し、6ヶ月毎に見直している。状況が変化した時はその都度介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	入居者の1日の過ごされ方、実施したサービスを個別記録に記入し、職員間での情報や連絡ノートで確認し、介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	入居者、ご家族の要望に応じ、柔軟な支援やサービスに取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域との関わりを支援し、入居者が心身の力を発揮できるようまた、安全で豊かな暮らしを楽しんで頂けるよう支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人、ご家族の希望を大切に、適切な医療を受けられるよう、支援している。	本人や家族の希望するかかりつけ医の受診を事業所に対応し受診結果は家族に報告している。協力医療機関の2週間に1回の訪問診療がある。緊急時の対応などには連携を取りながら適切な医療を受けられるよう支援している。職員看護師により終末期に対するケアについても期待できる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、口吊りの関わりの中にとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>介護職員は、情報や気づき、変化を常に把握し、訪問看護師等に伝え、入居者が適切な受診や、看護を受けられるよう、日常の健康管理の支援を行っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>かかりつけの医師をはじめ、屋久島徳洲会病院や尾之間診療所との情報交換や、相談に努めております。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居時に、重度化や終末期を迎えた際には、医療機関にての対応になることを十分に説明し、同意を得ております。</p>	<p>契約時に重度化や終末期についての指針を説明し同意書を貰っている。状況変化に伴い主治医の診断を踏まえ家族と話し合い、母体医療機関と協力して対応を行っている。看護師の人員配置で、重度化した場合は終末期に対するケアについて期待できる体制を整備している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時に対しての応急手当や対応の訓練は、研修を受講し実施しているが、定期的に取り組んでゆきます。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>定期的な避難訓練を通じて、消防署はもちろん、近隣住民との協力体制を築いております。</p>	<p>年2回消防署立会いのもと、昼夜想定での避難訓練を実施している。スプリンクラーや緊急通報装置を設置、スロープも4ヶ所整備・リヤカーを使用した避難訓練も行われている。日頃から災害時に向けて体制を整えている。地域住民にも直ぐに連絡が取れるよう連絡先も見易いよう配置されている。災害時の水や米・カップラーメンなどの備蓄もある。母体法人でも食料等を保管している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者の人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	利用者の尊厳とプライバシーを尊重した言葉かけや対応に留意している。保健所主催の研修会やホームでの勉強会を行い、職員のレベルアップを図っている。排泄失敗時もさりげない声かけを促すなど職員全員が意識して取り組んでいる。居室に洗面台やトイレが設置されており、安心感がある。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者との会話の中で、思いや希望を表現、自己決定できるように支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日をどのように過ごしたいか？一人ひとりのペースを大切に、希望に添って支援しております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	洋服など、ご自分で選んで頂き、その人らしい身だしなみや、おしゃれができるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一緒に採ってきた山菜など一緒に下ごしらえをしたり、好みの味付けや調理方法も聞きながら、楽しく食事ができるように努めている。片付けも出来る限り手伝って頂いている。	筍やつわなど、旬の食材を採りに行ったり、家族や知人からの差し入れをいただき、希望に添った献立を工夫している。準備や味付け・後片づけを職員と一緒にしたりしている。季節の行事食やホットプレートで焼きそばやお好み焼きを作ったり、ソーメン流しをするなどして食事が楽しみなものになるよう工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりのその日の体調や希望により、量などの調整を行い、水分・食事摂取量の確保を行い、習慣に応じた支援を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアを、言葉かけ、状態に応じて介助にて行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	言葉かけを行いながら、時間や量の把握のため、チェック表で確認しながら、排泄の自立支援に努めている。	排泄チェック表や生活パターンを把握し、声かけやトイレ誘導でトイレでの排泄や自立に向けた支援を行っている。退院後オムツ使用していた利用者がポータブルトイレで排泄可能となる等、改善された事例がある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	軽度の運動や散歩を実施し、水分補給や食物繊維の多い野菜中心の料理にて対応している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	週3回の入浴と定めておりますが、希望があればいつでも入浴できるよう支援している。	入浴は基本的には週3回であるが、利用者の希望や体調に合わせて、いつでも入浴可能となっている。入浴を拒む利用者には声かけの工夫や時間調整をする等、職員間で工夫している。利用者のタイミングに応じて、無理強いする事無く、入浴を楽しんでもらうように努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの生活のリズムに応じ、休息したり、安心して良く眠れるように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬のファイルにて、使用目的、副作用、用法、用量を把握し、内服時は手渡し、確認を行いながら、ご本人にも説明を行いながら、病状の変化の確認に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>一人ひとりの生活暦や役割、楽しみ事を職員と一緒に楽しんでおります。さらなる支援に努めたい。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>体調やその日の天気により、散歩・ドライブ・買い物・花見や遠足など、ご家族や地域の協力を頂きながら、できる限りの支援を行っている。</p>	<p>本人や家族の意向に応じ、日常的に外出できるようにしている。ホーム周辺の散歩やドライブ・買い物・公園に出かけたり、希望に応じて自宅周辺に出かけたり、計画を立てて花見や遠足にも出かけている。家族の協力外出や外食・墓参にも行っている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>ご家族の理解の下、ご自分で所持され、希望に応じ、買い物の際に使えるように支援している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>ご家族の希望により、居室に電話を引かれたり、携帯電話を所持されたり、ご本人自らが電話や手紙のやり取りができる支援を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	明るく広いリビングでTV視聴されたり、ゲームをされたり、お茶や食事をゆっくり召し上がられたり、外の景色や花を眺められ季節感を感じ、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ホーム室内は明るく、日差しが適度に入り、採光や換気に配慮され、廊下が広く外の景色を眺めながら静かな環境で過ごしている。共用空間には畳もあり横になって過ごす事もできる。干支や季節に応じた花が飾られており、四季を感じる事ができる。ユニット間は自由に行き来ができ交流している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ベンチやソファを配置し、共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れたものや、好みのものを持ち込んで頂き、居心地よく過ごせるような居室になるよう、ご家族とも相談しながら工夫している。	居室はトイレや洗面台・ベッド・タンスが備え付けられており、自分の使い慣れた写真や絵画・布団等を持ち込んでいる。可能な限り自宅に近い環境で過ごせるように家族と職員で話し合い、利用者が居心地良く暮らせるようにしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレや洗面所等、安全かつ自立した生活が送れるよう、工夫し支援している。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない